

メーター保護フィルム

商品コード：(ホンダ type 1) 000-9041001

適合車種：下記の 5in TFT フルカラー液晶メーター
CB125R (JC91-1100001 ~) / CBR400R (NC65) /
NX400 (NC65) / CB650R / E クラッチ (RH17) / CBR650R /
E クラッチ (RH17) / NC750X (RH23) / CB750 ホーネット
(RH24) / X-ADV (RH21) / CB1000 ホーネット / SP (SC86)

- この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。
説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

製品についての注意 (必ずお読み下さい)

- 当製品はキズ用保護フィルムにつきダメージを最小限に抑える製品です。(完全に防ぐ事はできません) また、他の用途には使用しないで下さい。
 - このパーツは車種専用設計されていますので、他の車種には装着できません。また記載されていない追加工や不正な取付、改造、仕様変更はしないで下さい。
 - 組み立てミス等によるパーツ、その他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
 - 組み付け及び、点検作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
 - 当製品はノーマル車両に取り付けることを前提としています。
 - 取付の際、必ず車種ごとのメーターサービスマニュアルと併せて取付作業を進めて下さい。
 - エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
 - お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。
- ※金属製品や樹脂製品は、使用環境や経年変化により、錆や強度などが劣化しますのでご了承ください。

フィルム取り扱いについて (使用上の注意)

- メーターパネルのキズ用保護フィルムですが、衝撃などによる割れや破損防止には対応しておりません。
- 直射日光または長期使用により、変色や剥がれ、経年劣化する恐れがありますがご了承下さい。
- キズや経年劣化により、メーターの表示内容が認識しにくい場合はフィルムを交換してください。
- 火気厳禁：火の気のある場所でのご使用はお控え下さい。
- 貼り付け時の貼り直しは可能ですが、一度しっかり貼り付けると再使用はできません。

製品の保障について

- 製造には万全を期しておりますが、万一家社の製造上の原因による不具合等がありました場合は、同等、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う事故、破損、故障、パーツ代金、整備費用の代償はご容赦願います。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。

250716 Y-H



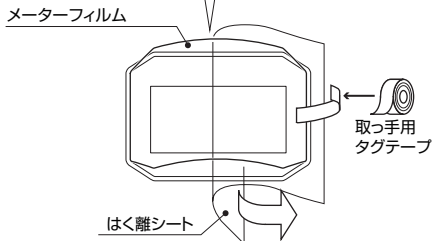
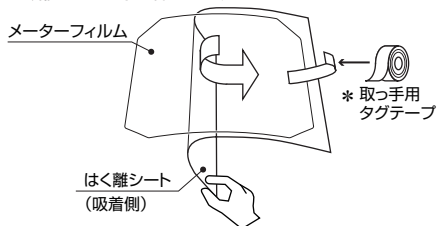
〒 577-0015 東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代) FAX.06-6782-0740

貼付方法

※フィルムを貼り付ける前にメーターパネルにフィルムをあて、貼り付け位置をご確認ください。

- 1) 貼り付け面に付着しているホコリ、油分などの汚れをきれいに
取り除いてください。
 - 2) メーターフィルム裏側(吸着面)の、はく離シートを半分剥がし
ます。(吸着面には指紋や油分が付着しない様注意。) また貼
り直しができる様、下記の対策を行うと作業性が上がります。
※セロハンテープで表面に取っ手のタグを貼り付けてフィルム
を持ち上げます。
 - 3) メーターパネル左側の形状や角を基準に合わせてから、ゆっく
り軽く貼り付けてください。
- ※自己吸着タイプですのでメーターパネルに置くだけで、ある程
度は吸い付くように貼り付きます。
※何度も貼り直そうとするとホコリの付着や吸着力低下の原因と
なります。

はく離シートを半分剥がします。



※フィルムの貼り直し / 剥がし方
マスキングテープで表面に取っ手のタグを貼ると指紋の付着な
どを気にせず、フィルムが持ち上げやすくなります。

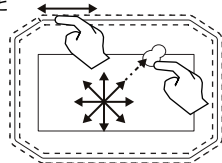
●気泡の抜き方

- 4) 吸着後、残っている気泡を外へ逃がす為、中心から外へ向かっ
て柔らかな布を当てがって、滑らしながら押さえて貼り付けて
下さい。最後にフィルムの端(点線部)も同様に押さえてくだ
さい。

【注意！】固い物で押えると破れたり傷が付きますのでご注意
ください。

- 5) 貼り付け後は完全に定着させる為、半日から一日は触れない
様にして下さい。

※外側に向けて
気泡を抜くこと



(気泡のサイズによっては完全に除去できない場合があり、目立
たない程度が限界です。)